

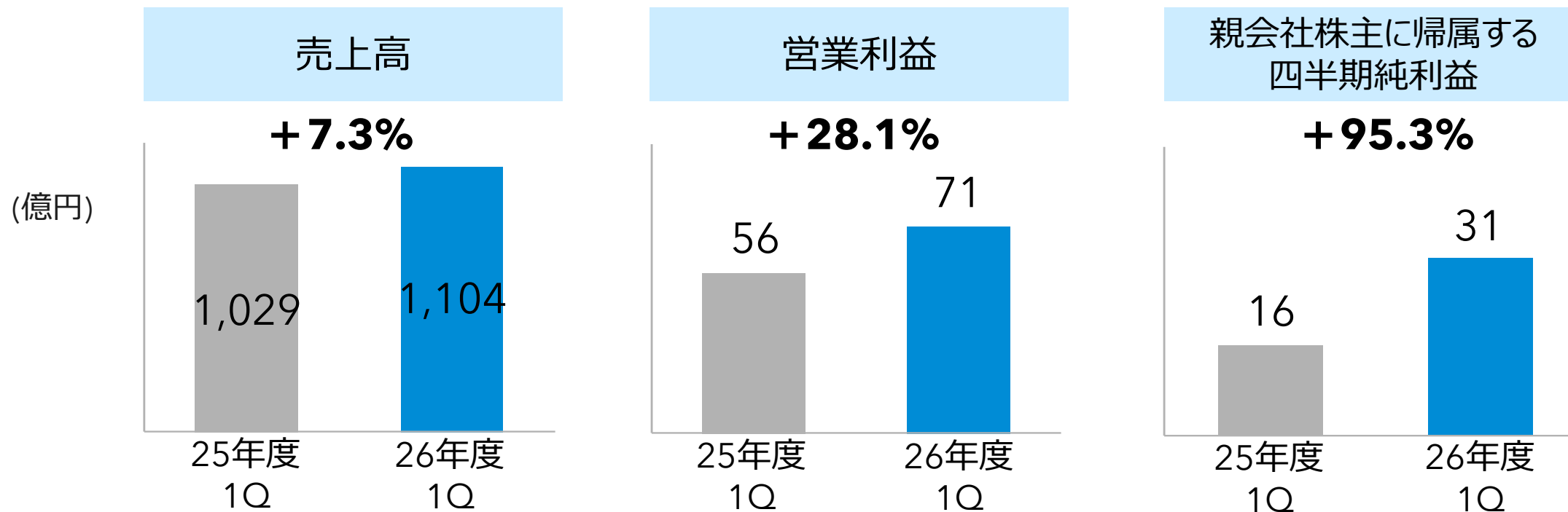
2026. 8. 6

2026年度 第1四半期 決算説明

東洋紡株式会社

第1四半期 実績

中東情勢悪化の影響を受けるも、工業用フィルム、樹脂・ケミカルが堅調に推移し、増収増益。
営業利益は 71 億円、四半期純利益は 31 億円



2027年3月期 通期予想

工業用フィルムは堅調持続も、減価償却費の増加、中東向け販売の減少、原燃料コスト影響により、増収減益。営業利益 230 億円、当期純利益 70 億円、配当は一株あたり 40 円を予想

	25年度 1Q	26年度 1Q	増 減		(億円)
			金 額	率	
売上高	1,029	1,104	+75	+7.3%	
売上総利益	252	274	+22	+8.7%	
(率)	24.5%	24.8%	-	-	
営業利益	56	71	+16	+28.1%	
(率)	5.4%	6.5%	-	-	
営業外損益	▲ 13	▲ 5	+8	-	
経常利益	43	66	+24	+55.3%	
特別損益	▲ 13	▲ 9	+4	-	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16	31	+15	+95.3%	
EBITDA [*]	114	141	+27	+23.3%	
EPS (円)	17.8	34.8	-	-	
減価償却費	59	70	+11	+18.8%	
設備投資	66	50	▲ 17	▲ 25.1%	
研究開発費	35	36	+1	+3.3%	

* 営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)

営業外損益・特別損益

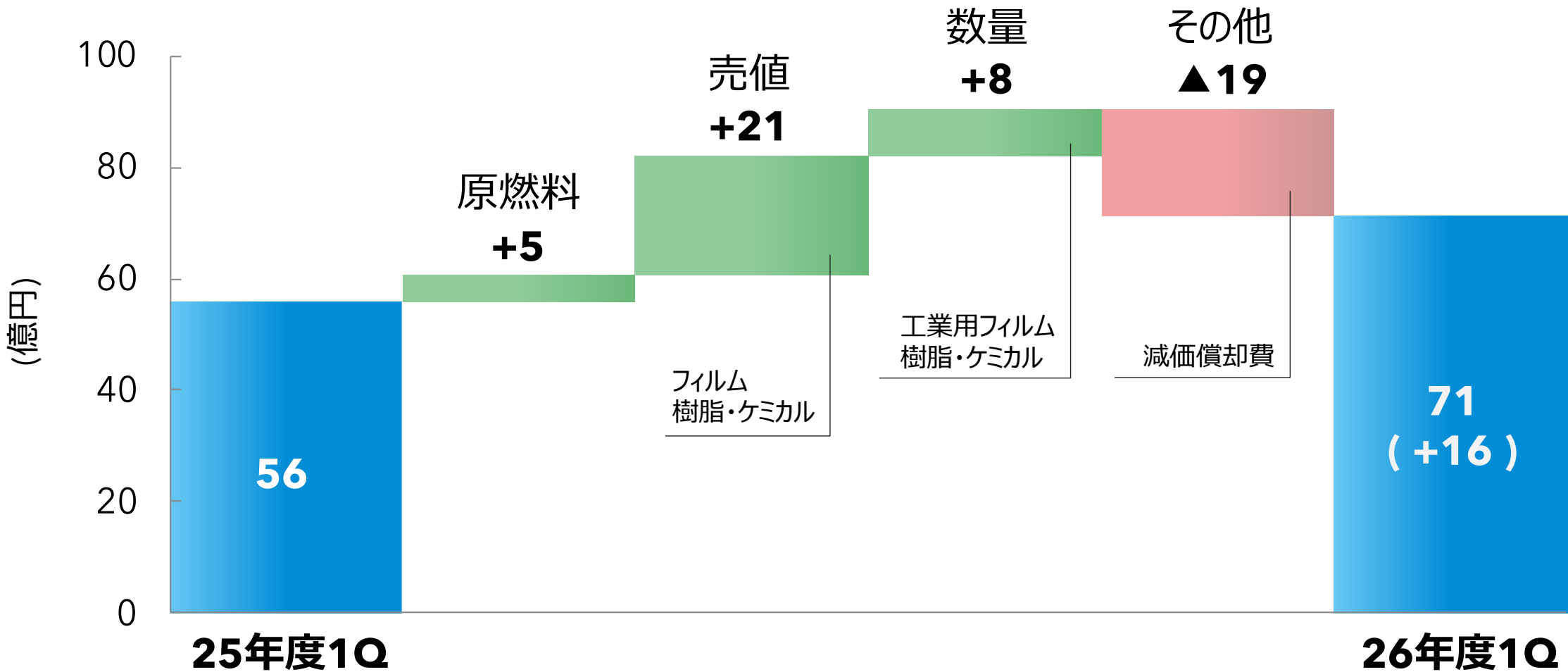
営業外損益 内訳 (億円)

	25年度 1Q	26年度 1Q	増 減
受取配当金	1	1	▲ 1
為替差益	-	0	+0
その他	6	7	+1
営業外収益 計	7	8	+1
支払利息	7	8	+1
為替差損	4	-	▲ 4
その他	9	5	▲ 4
営業外費用 計	20	13	▲ 7
営業外損益 計	▲ 13	▲ 5	+8

特別損益 内訳 (億円)

	25年度 1Q	26年度 1Q	増 減
特別利益 計	-	-	-
減損損失	-	2	+2
固定資産処分損	3	2	▲ 2
投資有価証券評価損	-	4	+4
事業構造改善費用	-	1	+1
退職給付制度改定損	9	-	▲ 9
特別損失 計	13	9	▲ 4
特別損益 計	▲ 13	▲ 9	+4

営業利益の増減要因



	25年度				26年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
為替レート (円/US\$)	144	147	154	157	160
国産ナフサ (千円/kl)	65	64	66	67	119

	(B)		(A)	(億円)
	25/3末	26/3末	26/6末	増 減 (A)-(B)
総資産	6,178	6,277	6,207	▲ 70
現預金	286	311	298	▲ 13
売上債権	1,062	1,017	994	▲ 23
棚卸資産	1,190	1,281	1,286	+5
有形固定資産	2,965	2,999	2,978	▲ 22
純資産	2,320	2,520	2,503	▲ 16
自己資本	1,953	2,133	2,131	▲ 2
うち利益剰余金	690	762	758	▲ 5
非支配株主持分	367	387	373	▲ 14
有利子負債	2,679	2,610	2,622	+12
D/E レシオ	1.37	1.22	1.23	-
D/E レシオ（資本性調整後） [*]	1.15	1.03	1.04	-

^{*} 劣後ローンおよび劣後債資本性調整後のD/E レシオ

決算サマリー | セグメント別

(億円)

	売上高		営業利益		
	25年度 1Q	26年度 1Q	25年度 1Q	26年度 1Q	増 減
フィルム	446	485	40	52	+12
ライフサイエンス	80	91	2	▲ 5	▲ 6
環境・機能材	254	288	15	28	+13
繊維	196	188	▲ 1	▲ 4	▲ 3
不動産・その他	53	51	7	6	▲ 1
消去・全社	-	-	▲ 7	▲ 6	+1
合計	1,029	1,104	56	71	+16

26年度より報告セグメントの区分を以下の通りに変更。25年度は変更後の区分に基づき組み替えた数字で記載

- ・「機能繊維・商事」の名称を「繊維」へ変更
- ・「機能繊維・商事」に含まれていた一部事業を「その他」へ変更

	25年度	26年度	増減		(億円)
	1Q	1Q	金額	率	
売上高	446	485	+40	+8.9%	
営業利益	40	52	+12	+29.0%	
(率)	9.0%	10.7%	-	-	
EBITDA	65	82	+17	+26.7%	

包装用フィルム

- 原燃料価格高騰や調達リスクの高まりが懸念されるなか、
販売面での見直し、生産性改善により、影響は一部にとどまる

工業用フィルム

- 液晶偏光子保護フィルムは、堅調に推移
- セラミックコンデンサ用離型フィルムは、AIサーバー向けを中心に販売が拡大

	25年度	26年度	増減		(億円)
	1Q	1Q	金額	率	
売上高	80	91	+11	+13.4%	
営業利益	2	▲ 5	▲ 6	-	
(率)	2.0%	-	-	-	
EBITDA	11	7	▲ 4	▲ 33.2%	

バイオ

- 診断薬用および遺伝子検査試薬用の原料酵素は、海外向けの販売が堅調に推移

メディカル

- 人工腎臓用中空糸膜は、販売は堅調に推移も、原燃料価格高騰の影響あり

医薬

- 事業環境の変化や設備更新に伴う対応などにより、販売が減少

	25年度	26年度	増減		(億円)
	1Q	1Q	金額	率	
売上高	254	288	+34	+13.5%	
営業利益	15	28	+13	+90.2%	
(率)	5.8%	9.6%	-	-	
EBITDA	26	41	+15	+59.6%	

樹脂・ケミカル

- エンジニアリングプラスチックは、自動車用途を中心に販売が増加し、収益が改善
- 工業用接着剤“バイロン”は、海外向け電子材料用途の販売が堅調に推移

環境・ファイバー

- 海水淡水化用逆浸透膜（RO膜）は、中東情勢悪化の影響により、販売減少
- 高機能ファイバーは、“ザイロン”の需要回復を受けて、販売が増加
- 不織布マテリアルは、спанボンド不織布が建材用途を中心に回復、収益性が改善

	25年度	26年度	増減		(億円)
	1Q	1Q	金額	率	
売上高	196	188	▲ 8	▲ 4.1%	
営業利益	▲ 1	▲ 4	▲ 3	-	
(率)	-	-	-	-	
EBITDA	5	3	▲ 2	▲ 40.1%	

衣料繊維

- 中東向け特化生地は、中東情勢悪化に伴う販売減少とコストアップにより、収益性が大きく低下

エアバッグ用基布

- 生産効率の向上および海外拠点の集約を進め、収益性が改善

2026年度の事業環境見通し

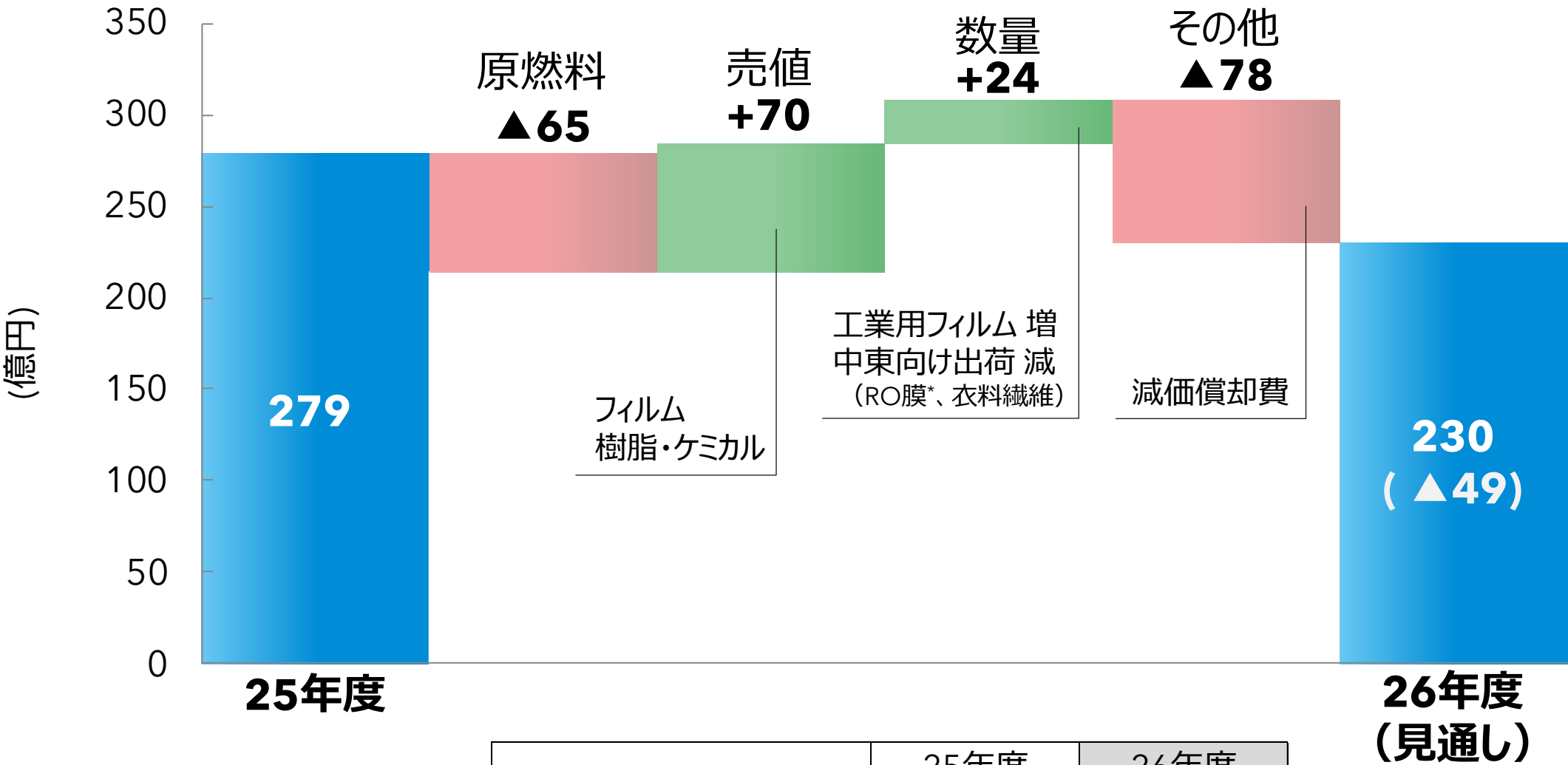
セグメント	事業	見通し
フィルム	包装用	前年度並みも、後半やや減速
	工業用	液晶偏光子保護フィルムは堅調な需要が継続
		MLCCはAIサーバー関連需要を中心に拡大
ライフサイエンス	バイオ	欧米向け堅調も、中国での競争激化
	メディカル	人工腎臓用中空糸膜は国内外の需要堅調
環境・機能材	樹脂・ケミカル	自動車向けは地域差あるも需要は堅調
		電子材料向けは国内外で需要堅調
	環境・ファイバー	海水淡水化用逆浸透膜（RO膜）は中東情勢の影響あり（輸送、商談）
		不織布マテリアルは前年度並みの需要を想定
繊維	衣料繊維	中東向け特化生地は中東情勢の影響あり（出荷減少等）
	エアバッグ	自動車向けは地域差あるも需要は堅調
共通		国産ナフサ価格は後半低下を想定も、中東動向次第

2026年度 業績見通し

工業用フィルムは堅調持続も、減価償却費の増加、中東向け販売の減少、原燃料コスト影響により、増収減益。営業利益 230 億円、当期純利益 70 億円、配当は一株あたり 40 円を予想

	25年度	26年度	増 減		(億円)
	実績	見通し	金 額	率	
売上高	4,216	4,350	+134	+3.2%	
営業利益	279	230	▲ 49	▲ 17.6%	
(率)	6.6%	5.3%	-	-	
経常利益	229	185	▲ 44	▲ 19.1%	
特別損益	▲ 35	▲ 40	▲ 5	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	112	70	▲ 42	▲ 37.4%	
EBITDA	525	515	▲ 10	▲ 2.0%	
EPS (円)	126.7	79.3	-	-	
減価償却費	246	285	+39	+15.7%	
設備投資	290	225	▲ 65	▲ 22.5%	
研究開発費	141	150	+9	+6.3%	

営業利益の増減要因



	25年度	26年度
為替レート (円/US\$)	151	161
国産ナフサ (千円/kl)	65	91

*海水淡水化用逆浸透膜

セグメント別見通し

TOYOB0

(億円)

売上高	25年度 実績*			26年度 見通し			通期 増減
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
フィルム	865	886	1,752	990	860	1,850	+98
ライフサイエンス	165	180	345	180	210	390	+45
環境・機能材	507	594	1,101	550	600	1,150	+49
繊維	399	406	805	365	385	750	▲ 55
不動産・その他	103	110	213	105	105	210	▲ 3
消去・全社	-	-	-	-	-	-	-
合計	2,040	2,175	4,216	2,190	2,160	4,350	+134

営業利益	25年度 実績*			26年度 見通し			通期 増減
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
フィルム	86	80	166	90	50	140	▲ 26
ライフサイエンス	1	▲ 1	1	▲ 3	4	1	+0
環境・機能材	31	66	97	45	52	97	▲ 0
繊維	▲ 0	10	9	▲ 7	8	1	▲ 8
不動産・その他	15	21	35	10	11	21	▲ 14
消去・全社	▲ 15	▲ 15	▲ 29	▲ 15	▲ 15	▲ 30	▲ 1
合計	118	161	279	120	110	230	▲ 49

* 新セグメントでの25年度 上期、下期および通期実績は、監査前の暫定値です。今後、変更になる可能性があります。

補足

売上高	25年度*					26年度	(億円)
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	
フィルム	446	419	435	451	1,752	485	
ライフサイエンス	80	85	83	97	345	91	
環境・機能材	254	253	272	322	1,101	288	
繊維	196	203	197	209	805	188	
不動産・その他	53	50	49	61	213	51	
消去・全社	-	-	-	-	-	-	
合計	1,029	1,011	1,035	1,140	4,216	1,104	

営業利益	25年度*					26年度	(億円)
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	
フィルム	40	46	42	38	166	52	
ライフサイエンス	2	▲ 0	▲ 4	3	1	▲ 5	
環境・機能材	15	16	23	44	97	28	
繊維	▲ 1	0	4	6	9	▲ 4	
不動産・その他	7	7	8	13	35	6	
消去・全社	▲ 7	▲ 8	▲ 8	▲ 7	▲ 29	▲ 6	
合計	56	62	65	96	279	71	

* 新セグメントでの25年度 2Q~4Qおよび通期実績は、監査前の暫定値です。今後、変更になる可能性があります。

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社

